

コンビ ベビーカー Acbee plus 取扱説明書

品質保証書付

安全基準B型 (7ヵ月～36ヵ月ころまで)



※本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 本書は大切に保管してください。
●本製品を他のお客様にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡してください。
●この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車(ベビーカー)です。
●望ましい連続使用時間: 1時間以内
●使用できるお子さまの月齢: 生後7ヵ月以上36ヵ月ころまで(お子さまの体重の目安15kg以下)
※生後7ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ胎週数37週以上を満たし、7ヵ月経過したお子さまを示します。

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
●ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者のかが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
●ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害が発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

Table with 2 columns: 表示 (Warning/Attention symbols), 表示の内容 (Content of the symbols).

警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

Multiple safety warning sections with illustrations showing correct and incorrect usage of the stroller.

Multiple safety warning sections with illustrations showing correct and incorrect usage of the stroller.

注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

Multiple attention warning sections with illustrations showing correct and incorrect usage of the stroller.

保管のしかた

Storage instructions section with illustrations showing how to fold and store the stroller.

点検とアフターサービスについて

Inspection and after-sales service section with text instructions.

ベビーカーの開きかた

Detailed step-by-step instructions for opening the stroller, including diagrams and numbered steps.

レシート(領収書)貼り付け欄

Warranty card and receipt area with fields for product name, date, and contact information.

Combi株式会社 (Combi Co., Ltd.) contact information and service center details.

各部のなまえ

Diagram of the stroller with labels for various parts like wheels, frame, and seat.

日常のお手入れ

Daily maintenance section with instructions on cleaning, fabric care, and wheel maintenance.

SGマークの被害者救済制度

SG Mark consumer relief system section with text explaining the process.

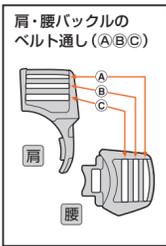
ベビーカーの折りたたみかた

Detailed step-by-step instructions for folding the stroller, including diagrams and numbered steps.

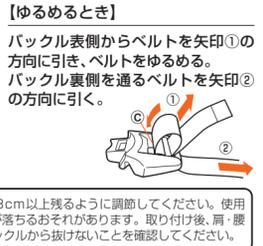
シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた

●お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、方への抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
●シートベルトの長さはお子さまの体に合わせ調整し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。シートベルトが長すぎるとお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
●お子さまを乗せたまま背もたれを倒す場合、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。操作後は肩ベルトを適切な長さに調整してください。
●左右の肩ベルトを交差した状態で取り付けないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

●シートベルトとは、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトの総称です。
肩・腰ベルトの長さを調節するとき



【締めるとき】
ベルトの先端を矢印①の方向に引く。
【ゆるめるとき】
バックル表側からベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをゆるめる。バックル裏側を通るベルトを矢印②の方向に引く。
【ポイント】
● 肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調整してください。使用中に肩・腰ベルトが抜け、お子さまが落ちるおそれがあります。取り付け後、肩・腰ベルトを強く引っ張り、それぞれのバックルから抜けにくいことを確認してください。



【ポイント】
● ベルトの調節の目安がわからない。
→ お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのお子さまの顔の付近にくるとき、お子さまが引っぱって遊んでしまうおそれがあります。肩バックルのベルト通し③部分に適してお使いください。
● ベルトの調節の目安がわからない。
→ お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのお子さまの顔の付近にくるとき、お子さまが引っぱって遊んでしまうおそれがあります。肩バックルのベルト通し③部分に適してお使いください。

シートベルトを締めるとき

1. お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。
2. 肩バックルを腰バックルに重ねる。
3. 股バックルを引き出し、股バックルの左右に重ねた肩と腰バックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。
4. 肩ベルト、腰ベルトを引っ掛けて、はずれないことを確認する。

肩・腰ベルトをバックルへ取り付けてとき

- 肩・腰バックルへのベルトの取り付けかたが、不完全な場合、使用中にベルトが抜けおそれがあります。
● ベルトを肩・腰バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。
- ※ 肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調整してください。
※ 腰バックル右側でイラスト表現しています。
1. バックルのベルト通し④にベルトを通す。
 2. ベルト通し⑤にベルトを通す。
 3. ベルト通し⑥にベルトを通す。
 4. ベルト通し④にベルトを通す。(ベルト通し④と⑥にはベルトが2重に通ります)

股ベルトの長さを調節するとき

- 【締めるとき】**
股バックル裏側からベルトを矢印①の方向に引き、適切な長さまで引く。
【ゆるめるとき】
股バックル裏側からベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをゆるめる。股バックル表側を通るベルトを矢印②の方向に引く。
【ポイント】
● 股ベルトは、取りはずしできません。

肩・腰ベルトの取り付けかた

- 肩・腰ベルトは、シートの左右のベルト通し穴にシート裏側から通す。肩ベルトはお子さまの肩にあわせて、高さを調整してください。
【ポイント】
● ベルト通し穴は、フレーム通し穴の内側にあります。
● 肩ベルトは図のように肩ベルトストッパーに通してください。
● 肩ベルトを洗うときは、肩ベルトストッパーから、肩ベルト、バックルをはずしてください。

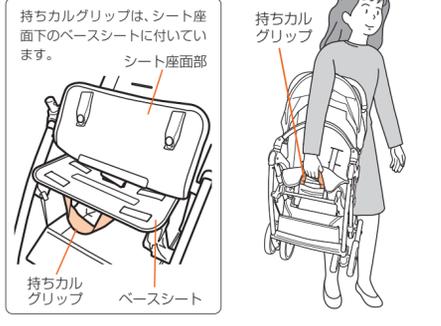
フロントガードの使いかた

- フロントガードは関係なく、お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がり防止のものではありません。
●ガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。
●お子さまを乗せたままフロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれお子さまがケガをする可能性があります。
●ベビーカーを開いた状態で、フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。
- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っ掛けて使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
●フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広がりすぎないようにしてください。故障や破損の原因となります。
●フロントガードを片側だけはずした状態で保管しないでください。フロントガード本体の変形の原因となります。取りはずしたフロントガードは必ず保管してください。
- お子さまの乗せ降ろし時にフロントガードを開くと、よりスムーズに乗せ降ろしができます。
●フロントガードを取りはずした状態でもご使用できます。
●フロントガードを取りはずした状態でもベルトは必ず装着してください。



持ちカルグリップの使いかた

- 持ちカルグリップは、ベビーカーを折りたたんだ状態で持ち運ぶときに使用します。
【ポイント】
● お子さまを乗せたまま使用しないでください。手がすべったり、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。
● 持ちカルグリップに過度の力を加えないでください。故障や破損の原因となります。
● 必ず折りたたんだ状態でご使用ください。
● 本来の目的以外で使用しないでください。
- 折りたたんだ状態のハンドル側から、ベースシート裏側に付いている持ちカルグリップをつかむ。
鏡を例のように折りたたんだ状態で、脇の下にハンドルをささむように使用してください。(右図参照)



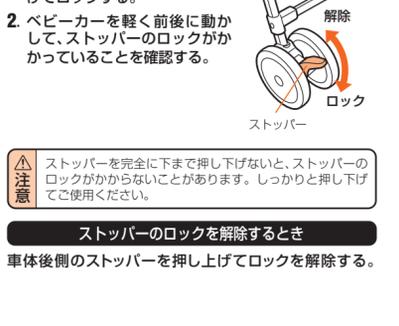
キャストの使いかた

- キャストを使用するとき
キャストロックレバーを下げて、ロックを解除する。
キャストを使用すると、平坦な路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズになります。
- キャストを使用しないとき
キャストロックレバーを上げてロックする。
キャストをロックすると、坂道や凹凸の路面で押しやすくなります。



ストッパーの使いかた

- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
●お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけ使用しないでください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。
- 空車であっても、ベビーカーから離れたときは必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。
- ベビーカーを停止させるときには、必ずストッパーのロックをかけてください。



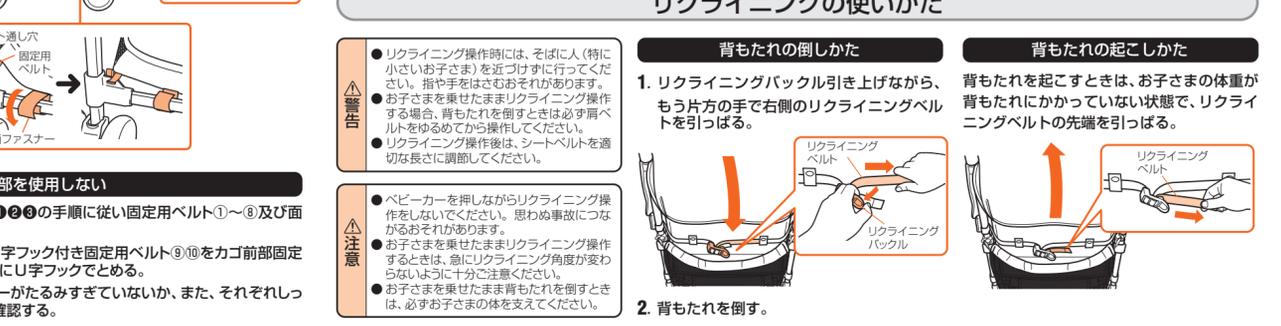
カゴの使いかた

- 立壁部は車体に着けても取り外しても使用できます。
●立壁部を使用するとカゴの収納容量を拡大することができます。
- 立壁部を使用する場合、U字フック付き固定用ベルトをハンドルパイプ中央部(図A参照)に巻きつけてU字フックにとめて使用してください。誤った位置に取り付けた場合、左右の開閉ロックに干渉し折りたたまれるおそれがあります。
- カゴに重い荷物はのせないでください。破損の原因となります。
●固定用ベルトはU字フック付き固定用ベルトは指定の位置にしっかりと取り付けてください。
●角のついたものや、カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。荷物の落下やカゴの変形およびぶれの原因となります。
●立壁部を使用しない場合は、U字フック付き固定用ベルトを指定の位置にしっかりと固定してください。立壁部やU字フック付き固定用ベルトが元来にきたり車輪にはさまるおそれがあります。
●カゴに荷物を入れたままベビーカーを折りたたむときの留意点
●変形や、ぶれやすい荷物は避けてください。
●無理なく折りたたむことができることを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
●荷物を入れたまま折りたたんだ後、荷物を入れた状態からベビーカーを開いた後は、開閉ロックがしっかりとかかっていることを確認してください。
●折りたたんだ状態、荷物の置き方によっては荷物が落下するおそれがあります。
●荷物を入れている状態に比べて、転倒しやすくなります。
●立壁部を使用するときの留意点
●角のついたものは入れないでください。カゴの変形およびぶれの原因となります。
●立壁部にかさの高荷物を入れた場合、リクライニング背もたれを最も倒した状態にしないようにしてください。また、荷物が背もたれあたりにお子さまの背中に当たる可能性があります。
●立壁部に荷物がよく、荷物を入れている状態に比べて転倒しやすくなります。
- ※ 荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるようにのせてください。**耐荷重5kg**



幌の使いかた、はずしかた、取り付けかた

- 使用するとき**
両手で幌フレームを持ち、幌を前に広げる。
- 収納するとき**
使用するときの手順を逆に、幌フレームを1番後側に引いてとめる。
●ベビーカーを折りたたむときは、必ず幌フレームを1番後側に引いてください。
- はずしかた**
1. 幌とシートをとめている幌固定用ファスナーをはずす。
2. ハンドルパイプにとめている幌ホック(左右各2カ所)をはずす。
3. 左右の幌ジョイントのツメを手前に引き上げながら、幌ホルダーから引き抜く。
【ポイント】
● 収納時や景色を見せたいときは、先端幌を外側にめくって使用することができます。
- 取り付けかた**
幌を取り付けるときは、幌固定用ファスナーを必ずとめてください。お子さまの頭に当たるとおそれがあります。



シートの取りはずしかた、取り付けかた

- やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
●シートを取り付ける際は、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全な場合、ケガやぶれなどの原因となります。また、シートのほつれに起因し、開閉操作やキャストの動きに動作不良を起こすおそれがあります。

シートの取りはずしかた

1. 幌固定用ファスナーと幌ホック(2カ所)をはずす、図のような幌を前に倒す。
 2. 左右のハンドルパイプについているシートのハンドル取付ホック(左右各2カ所)をはずし、ハンドル取付ゴムベルト(左右)をはずす。
 3. シート背面のリクライニングベルト固定用ホック(2カ所)をはずす。
 4. シート座面の取付ホック(2カ所)をはずす。
 5. ●バックルボタンを押して肩・腰バックルをはずす。
●座面の面ファスナーをはずし、シートの股ベルト通し穴から、股バックルを引き抜く。
 6. 車体フレームからシートを取りはずす。
- 【ポイント】**
● シートははずしているときは、股ベルトが面ファスナーに触れないようにご注意ください。
● 洗濯の際は、あらかじめ肩・腰ベルトを取りはずしてください。取りはずすかたは、「肩・腰ベルトの取り付けかた」を参照してください。

